

選挙についてどう思うか

上田染谷丘高等学校 1年 柴崎 正観

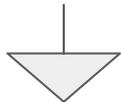
この課題に関わるSDGsの番号

17番 パートナシップで目標を達成しよう



なぜこのテーマを設定したか

年々選挙での投票率は落ちてきている



選挙について軽く考える人が増えてきていると感じる。

今の選挙の課題

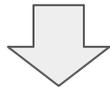
- ・全体の投票率自体低い
- ・年代別に差がある(投票率の)
- ・特に若者の投票率が非常に低い
- ・民主主義の尊さがわかっていない



若者の投票率が低いことで起こる問題

まずは年代別でみて若者の投票率を全体と比較してみる(投票率~~×~~有権者数)

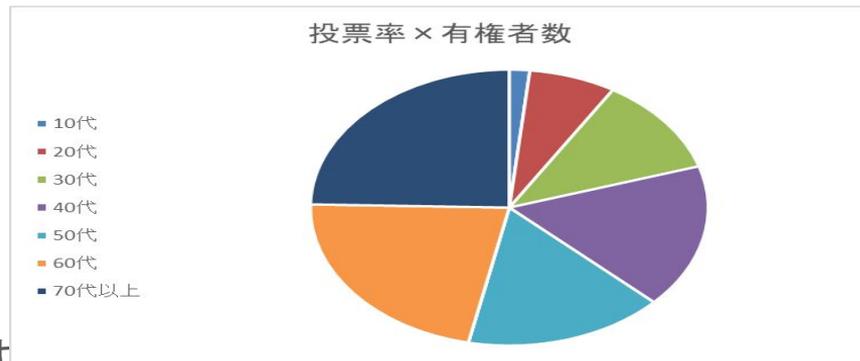
このように高齢者などに対する若者の
比率が低いことがわかる。



政治家が選挙で勝つには票が必要。

一番合理的に票を取れる高齢者の世代にアピールする。
アピールする方がいいという考えになる

(グラフの引用<http://ivote-media.jp/2019/02/01/post-13/>)



民主主義における主権者として

これから民主主義をになっていく若者が選挙にすら半分も行かない。

そんなことでいいんか？ということです。「一人一人が主権者として社会の意思決定に対する当事者意識と責任を持つこと」それが民主主義だと思います。

そして選挙はそれが一番形としてわかりやすくとても重要なものです。

なので若者の投票率を上げていくということはとても重要なことだと思います。

提案

- ・大学や高校また職場などでの呼びかけを積極的に行なっていくこと。
- ・SNSでの投票も含めた解決策を考えていくこと。
- ・政治家も積極的にSNSなどを活用して発信していくこと。

最後に

「選挙に行く」というのは決してゴールではないです。(行かないのは論外！)

主権者として

- ・社会問題について興味を持ったり自分から意見を発信する
- ・投票以外の政治参画
- ・当選した政治家の監視

などがさらに求められてくるでしょう。

感想

色々調べている中で改めて投票率の低さを強く実感できた。この課題は一人一人の意識の問題でもあると思うので選挙権を持つ前からしっかりと考えたりしていかなければいけないと感じた。

これを機に選挙について自分で
調べたり考えてみよう！

引用

<http://ivote-media.jp/2019/02/01/post-13/>